

# スギ伐採跡に広葉樹

きんたろう倶楽部  
メンバーら40人

## 八尾の山林整備



富山市八尾総合行政センターは二十八日、同市八尾町大道の山林で森林整備作業を行い、地元住民や森林保全のボランティア組織「きんたろう倶楽部」メンバー、市職員ら約四十人が広葉樹の苗木を植えた。  
山林は旧室牧村(現・富山市)の所有地で、県の分収造林事業で室牧村時代にスギを植えた。契約期間の七十年が過ぎたことから、平成十六、十七年に伐採された。  
この日は〇・五秒で作  
植樹作業を行う参加者

業を行い、栗やケヤキ、ナラ、カエデなど広葉樹の苗木計四百本を植えた。自生している広葉樹周辺の下草刈りも行った。

# 森再生へドングリ拾い

富山 きんたろう倶楽部と園児



熱心にドングリを拾い集める子どもたち＝富山市舟橋南町の知事公館

# 苗木に育てて植樹

里山再生を目指す富山市のボランティア組織「きんたろう倶楽部」は二十九日、富山市愛宕町の紅葉ガ丘幼稚園(盛池恵美子園長)の園児らと、同市舟橋南町の知事公館などで森の里親事業を開き、集めたドングリを鉢に植えた。

沈黙の森

森の里親事業は木の実から苗木を育てて植樹し、里山の再生を目指す。同幼稚園は昨年からの事業に取り組み、拾った木の実を鉢に植え付けるなどの活動をしてきた。

この日は年中園児二十六人が、知事公館でドングリを集めた。同館の庭園にはコナラの実があちこちに落ちており、園児たちは「ここにたくさんある」「帽子が付いているのもあった」などと歓声を上げながら、袋いっぱい実を拾い集めていた。  
幼稚園に戻り、拾ったドングリを竹製の植木鉢に植え付けた園児たちは、苗木の成長に期待を膨らませていた。



動画